

やまぐち
奉

仕

団

だより



日本赤十字社山口県支部 第14号 令和5年3月発行



令和4年度赤十字奉仕団中堅団員研修会（中部地域）

- ・ 3年ぶり！支部委員会を実施
- ・ 県下一斉ボランティア活動記録
- ・ 赤十字奉仕団中堅団員研修会を開催
- ・ 海外たすけあい募金のご報告
- ・ 県内奉仕団との連携について



日本赤十字社公式キャラクター
ハートちゃん

【赤十字奉仕団の現状(令和4年11月)】

奉仕団名	役割	団数	団員数
地域奉仕団	地域のボランティア活動や災害時の炊き出しなど	41団	8,516人
青年(学生)奉仕団	献血推進や社会福祉施設の訪問	3団	67人
安全奉仕団	県内全域での救急法等講習会指導・受講促進	1団	150人
アマチュア無線奉仕団	通信訓練及び県・市町村の防災訓練に参加	1団	92人
青少年赤十字賛助奉仕団	青少年赤十字(JRC)への加盟促進	1団	42人
災害救護奉仕団	県内全域での防災講習会指導・防災減災意識の向上	2団	96人

3年ぶり！支部委員会を参集で開催しました

例年5月、県内の各奉仕団（地域・青年・特殊奉仕団）の代表者7名が集まり開催している支部委員会は、過去2年新型コロナウイルス感染症の影響を受け書面での開催となっていました。今年度は3年ぶりに感染対策を万全に、対面で実施しました。



本会は、県内の各奉仕団が一体となって、いのちと健康、尊厳を守るための赤十字運動を奉仕団相互の連携強化により更に発展させることを目的に実施するものです。
会では、まず昨年度の各奉仕団の活動報告を行い、その後、事務局から令和4年度の奉仕団の活動予定や当支部の事業計画、前年度の日赤活動資金の募集状況などをお伝えしました。
最後に、『「支え合い、見守り、つなげる」赤十字奉仕団の役割と活動を考える』というテーマに沿って、意見を出しあい協議しました。

県下一斉ボランティアを実施しました！



地域奉仕団では、毎年5月の赤十字月間に合わせて県下一斉ボランティアを行っていましたが、ここ数年は社会情勢を鑑み、5月に限らず1年間を通して実施していただいています。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分にとりながら、生活道路の草刈りやゴミ拾い等の環境美化活動や非常炊き出し訓練を実施しました。地域の方々のため、各団とも工夫を凝らした活動をしていただきました。



萩市須佐赤十字奉仕団運動場除草作業



周防大島町赤十字奉仕団海岸清掃



長門市三隅赤十字奉仕団清掃活動



周南市熊毛赤十字奉仕団清掃活動



岩国市本郷赤十字奉仕団清掃活動



山口市赤十字奉仕団パークロード清掃



防府市赤十字奉仕団清掃活動



長門市油谷赤十字奉仕団清掃活動



上関町赤十字奉仕団海岸清掃



令和4年度赤十字奉仕団中堅団員研修会を実施しました！

10月5日、12日、19日県内3会場で中堅団員研修会を行いました。

今年度のテーマは、「食物アレルギーに配慮した炊き出し」。新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、食べ物を使った炊き出し訓練は行わず、机上で模擬炊き出し訓練を行いました。



材料一覧から材料を選んで…



工程表を作成！



最後には発表も

県内3か所で実施した本研修会は、中部地域20名、東部地域27名、西部地域11名の計58名にご参加いただきました！

まず、普段の炊き出しの工程を紙に時系列に沿って書き出して確認しました。

その後、事務局から食物アレルギーを持つ方が災害時にどんな苦勞をされているか、そして、災害時の資材が限られている中でもできる工夫「やさしい炊き出し4か条」の **声かけ** **取り分け**

書きだし **おひろめ**をお伝えしました。

その後、最初にご覧いただいた炊き出しの工程を見直し、いつもの炊き出しの中でできる工夫をグループごとに考えました。

「食物アレルギーで食べられないことを言うのを遠慮する人がいるからやさしい**声かけ**が必要だね。」「カレーを作るときには、ルーをかける前に白米だけで**取り分け**ておくと、カレールーの中にアレルギー物質がある人でもお米は食べられるね。」などと意見を出しながら進めていきました。

4か条の一つである「書きだし」「おひろめ」も実践し、作った料理の中に何が入っているのか材料を**書きだし**たり、使った調味料のパッケージをそのまま**おひろめ**して原材料表示がみられるようにするという体験もいただきました。

参加者からは、「災害時にこんな大変な思いをしている人がいるとは知らなかった。」「少しの工夫で食べられる人が増えるのはとてもいいと思った」などご感想をいただきました。

食物アレルギーを持つ方のほかにも、災害時に特別な支援を必要とされる方はたくさんいらっしゃいます。

全ての人に完璧な配慮を行うことはできませんが、地域の方に寄り添った支援へのご協力をよろしくお願いいたします。



第40回「NHK海外たすけあい募金」キャンペーンへのご協力ありがとうございました



この活動は、日本赤十字社とNHKが毎年12月に実施している募金キャンペーンです。

12月1日から25日の期間中は、平日10時から16時まで、NHK山口放送局の窓口で、山口市赤十字奉仕団の皆さんが毎日交代で募金の受付をしてくださいました。

お寄せいただいた寄付金は、世界各地の紛争や災害等による犠牲者の緊急救援、開発途上国での保健衛生及び防災・減災等の分野における開発協力事業に役立てられます。

山口県内「NHK海外たすけあい」募金総額
10,288,792円(1,577件)





県内の奉仕団と連携した活動をしてみませんか？

県内の奉仕団では多種多様な活動を行っています。奉仕団同士の連携のご提案、ご相談お待ちしております！

ぜひ、山口県支部までご連絡ください！



山口県赤十字安全奉仕団

AED



AEDの使い方や心肺蘇生法などのいのちと健康を守るための講習会を行っています。講習会を通じて、目の前で人が倒れたり、けがをしている人がいたときの対応方法を学ぶことができます。万が一の時に備えて、講習会の受講をご検討ください。

山口県赤十字防災奉仕団



「災害への備え」や「災害図上訓練」など様々な災害からいのちを守るために必要な備えをお伝えする防災講習を行っています。ご希望に沿った内容、時間で実施できます。地域での防災訓練のプログラムの一つとして防災奉仕団を呼んでみませんか？



山口県青少年赤十字賛助奉仕団



JRC（青少年赤十字）加盟促進や、加盟校での活動普及のための支援を行っています。お近くにJRCに興味をお持ちの学校がありましたら、ぜひご紹介下さい。また、JRC加盟校で活動される際には、子どもたちの赤十字の一員としての意識向上のため、賛助奉仕団による講話にご協力をお願いします。

<お知らせ>

5月は赤十字運動月間です

今からおよそ150年前、スイス人のアンリー・デュナン（ノーベル平和賞第1回目の受章者）は国際的な救護団体の必要性について訴え赤十字社を創設。日本赤十字社は、世界192カ国にある赤十字社の1つであり、毎年5月を「赤十字運動月間」として、赤十字の理念と活動へのご理解とご協力を呼びかけています。



赤十字の活動資金にご協力をお願いします！



お寄せいただいたご寄付は、災害救護活動や救援物資の備蓄、救急法等の講習普及など、赤十字の人道支援事業に活用させていただきます。

【発行元】日本赤十字社山口県支部

〒753-0094 山口市野田172-5

TEL 083-922-0102 FAX 083-932-3615 E-Mail info@yamaguchi.jrc.or.jp

<https://www.jrc.or.jp/chapter/yamaguchi/>

日赤山口県支部

検索

日本赤十字社山口県支部公式facebookはこちら

Find us on
Facebook

<https://www.facebook.com/jrcyamaguchi>

